

# ナプロアース社長通信\_第9回

今回のテーマは「人に喜ばれることをする！」です。

最近、自分の事しか考えられない人が多くなってきていると私は感じています。自分さえ良ければそれで良い、人や社会もしくは会社から何かを与えてもらう事ばかり主張する「自利」の精神しか持たない人が増加しているからなのでしょう。でも考えてみてください。自ら何か行動を起さなければ、何も変化は起きません。かく言う私も、若い時は「自利」の精神しか持たず他人に責任を押し付けていましたし、自ら何かを変えていこうと自主性や主体性に欠けていたと思います。

しかし、長年生きてきたおかげで心に響く教えに出会い、考え方が大きく変わってきました。特に印象に残っているのは、聖書の言葉で「黄金律」という言葉です。「他人から自分にしてもらいたいと思うような行為を人に対してせよ」という内容の倫理的な言明です。他の教えでは「与えるは受けるより幸福なり」という言葉にも出会えました。

社会人になって数年しか経っていない若い社員の方々は、これから結婚しパートナーを幸せにして、子供を養育していく日がくるでしょう。その時、パートナーや子供に対する「無私の愛」に気づき、何かをしてあげたいと思われるでしょう。みなさんを育ててくれた親御さんも、言葉に出さないまでも同じ気持ちでみなさんと接し育てていたのではないのでしょうか。親として子供の喜ぶ姿、すくすくと健康に育ってくれる姿を見るだけで幸せを感じていたと思います。そして、みなさんは色々な物を与えられたと思います。例えるなら愛情であったり、安定した生活基盤だったり、必要と感じる教育を受けさせたり…とくかく必死に働いて子供が不自由にならないよう頑張ってくれたことでしょう。

社会人となったみなさんは、親御さんから受けたものを少しずつでも返していく役目を受け持っています。親御さんだけにとどまらず、パートナーや自らの子供、また社会や地域、取引先を含めた協力会社や、会社の仲間、もちろんお客さまもその対象に含まれるでしょう。

くどいようですが自分さえ良ければという「自利」の精神では、無二の親友や頼れる仲間を見つけることはできません。家族を持っても長続きしないように思います。当たり前のことですが、「利他」の精神を持ち、家族や仲間を含めた他者を思いやり、多くの人を幸せに導ける人は誰からも愛されます。

今あなたは自利の精神ですか？それとも利他の精神を持っていますか？

この文面を読んでいただければ分かるかと思いますが、私が望んでいるのは利他の精神を持ち、多くの人から愛される人を目指して成長する仲間と仕事を続けていきたいのです。

人生にとって本当に大切なのは家族や友人です。人に与えること（私が思うにお金では買えないもの、例えば時間を使うことなど）によって人は集まってきます。自分がして欲しいと思う事を人にする事で多くの方に愛されるでしょう。当社ではこの考えのもと、地域清掃や講演会、また障害を抱える方の施設へ訪問活動、それぞれのチーム活動もこれらの教えが基礎となり計画されています。それらの本質に早く気づいて欲しい・・・というのが経営者としての考えです。

私は震災の後、会社をたたもうと考えていましたが、再開した時に数名の社員から『会社を再開してくれて、ありがとうございます』と言われた言葉がこれまでの人生で最高の喜びと幸せを感じた瞬間です。自分の幸せは他人を喜ばせる事だと深く理解できた時でした。みなさんも親・パートナー・子供・仲間・地域の方々に与える事、自分にして欲しい事を行う事で、自分の幸福感を味わえると思います。何をともあれ、人として素晴らしい人間になって欲しいと切に願っています。

平成 30 年 2 月吉日 池本 篤